

西大和つうしん

2019年11月号

No.449



池木屋山・宮ノ谷溪谷のスリリングな沢渡り(2019.9.15)

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第449号(2019年11月号)

【目次】

11月度山行計画.....	1
12月度山行計画.....	2
11・12月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
山行報告	
・自主山行 《9/14-16》 両白山地 赤兎山・三ノ峰～別山(野路・岩田・中).....	5
・例会山行 《9/15》 台高山脈 池木屋山(上田).....	8
・自主山行 《9/29-10/4》 東北の山 月山・烏海山・秋田駒ヶ岳・岩手山(野路・岩田・中).....	10
教育部主催 第2回初級学習会.....	14
室内例会だより.....	15
2019年度 第1回運営委員会議事録.....	16

11月度山行計画

～秋の公開山行～

公開山行 例会山行1 奈良中部 《高取山 583.6m～明日香村》

【日程】11月3日(日) (L林)

【集合】一般参加 近鉄吉野線壱阪山駅前 8:15

会 員 上牧町役場前駐車場 7:00 出発/7:50 明日香村役場駐車場

【コース】壱阪山駅前(8:30)～上小島砂防公園(9:15)～猿石分岐(10:20)～高取城本丸跡(10:50/11:30 昼食)～猿石分岐(11:50)～栢森北(12:50)～関大研究所(13:10)～案山子ロード分岐(13:30)～高松塚古墳(14:40/15:10)～近鉄飛鳥駅(15:30)／解散(15:40) (15:56 橿原神宮行)

※ 歩行時間：約6時間 歩行距離：約10km

※ 一般参加者は1週間前までに申込み(会長宛て)

※ 会員の皆様へお願い

・お知り合いに山行に興味がある方が居たら、是非お誘いください

・当日、一般参加者に積極的に声掛けし、出来れば入会をお誘いください

～近畿百名山「白髭岳」へ～

例会山行2 台高山脈 《白髭岳》 1,378m

【日程】11月10日(日) (L永井)

【集合】上牧役場前駐車場 5:30

【コース】東谷出合～(120)～小白髭岳～(100)～白髭岳～(55)～小白髭岳～(35)～P1046～(40)～P866～(40)～東谷出合

※歩行時間：約6時間30分

～岩稜帯のプチ縦走！！～

険しい岩場が続く登山道ですが、滝を見て紅葉も楽しみたいです

例会山行3 播磨の山 《七種槍 577.1m～七種山 683m》

【日 程】11月17日(日) (L橋本)

【集 合】上牧役場前駐車場 6:00

【コース】青少年野外活動センター脇登山口～七種槍山頂～小滝林道との分岐～七種山山頂～七種の滝～作門寺山門前駐車場～青少年野外センター

※歩行時間：約5時間30分 歩行距離：約9km

12月度山行計画

～曾爾の名峰へ～

例会山行1 室生山地 《倶留尊山》 1,037m

【日 程】12月1日(日) (L勝尾)

【集 合】上牧役場前駐車場 7:00

【コース】曾爾高原入口～(15)～お亀池～(25)～亀山峠～(20)～二本ボソ～(30)～倶留尊山～(25)～二本ボソ～(15)～亀山峠～(25)～長尾峠～(15)～曾爾高原入口

※歩行時間：約3時間

※体験山行対象です。山行に興味がある方を是非お誘いください

教育部主催・教育山行 「第3回初級学習会」

【日 程】12月5日(木) (L中)

【集 合】どんづる峰駐車場 9:00、上牧役場前駐車場 8:30

【内 容】・アイゼンについて(座学)

- ・アイゼンワーク(アイゼン歩行の練習)
- ・簡易ハーネスの体験

【持ち物】アイゼン・ストック(なければ用意します)、登山靴、スパッツ、手袋、軽食

※学習時間：約4時間

～眺望がすばらしい六甲！！ロックガーデンを歩き、
少し岩場歩きを楽しみながら頂上を目指します～

例会山行2 六甲山地 《六甲山 932m～有馬温泉》

【日 程】12月8日(日) (L橋本)

【集 合】阪急芦屋川駅 8:20 (JR王寺駅 7:00 集合 7:08 大阪行に乗車)
王寺 7:08⇒大阪/大阪梅田 8:00⇒(阪急)⇒8:20 芦屋川

【コース】芦屋川駅～高座ノ滝～風吹岩～雨ヶ峠～七曲り～一軒茶屋～六甲最高峰～有馬温泉

※歩行時間：約5時間 歩行距離：約13km

西大和山の会 カレンダー

11月		12月		
1	金	1	日	例会山行1《倶留尊山》(勝尾)
2	土	2	月	
3	日	3	火	県連理事会
4	月	4	水	
5	火	5	木	教育山行《アイゼン歩行》(中)
6	水	6	金	
7	木	7	土	
8	金	8	日	例会山行2《六甲山～有馬温泉》(橋本)
9	土	9	月	
10	日	10	火	
11	月	11	水	
12	火	12	木	
13	水	13	金	
14	木	14	土	
15	金	15	日	西大和つうしん原稿締切
16	土	16	月	
17	日	17	火	
18	月	18	水	
19	火	19	木	
20	水	20	金	
21	木	21	土	
22	金	22	日	12月度室内例会・忘年会
23	土	23	月	
24	日	24	火	
25	月	25	水	
26	火	26	木	
27	水	27	金	
28	木	28	土	
29	金	29	日	
30	土	30	月	
		31	火	

山行報告

自主山行 両白山地 **赤兎山** 1,628m・**三ノ峰** 2,128m～**別山** 2,399.3m

【日 程】9月14日(土)～9月16日(月)

【参加者】L 野路・SL 杉森・橋本・中・岩田 (5名)

9月14日(土) 晴れ 赤兎山(ピストン)

【コースタイム】佐味田川 5:30⇒小原駐車(9:55/10:25)～小原登山口(10:35)～小原峠(11:25)～赤兎山(12:15)～赤兎避難小屋(12:40/13:05 昼食)～赤兎山(13:25/50)～小原峠(14:25)～小原駐車場(15:25/50)⇒鳩ヶ湯温泉(17:00)〔泊〕

佐味田川を出発して4時間半ほどで小原駐車場に到着。快晴で爽やかな秋風が心地よい。10分ほど歩き、小原登山口に到着。緩やかな登りで登山道も整備され、歩きやすい道である。ブナ林の中40分ほどで小原峠に到着。大長山と赤兎山、白山ビジターセンターとの分岐。

小原峠を過ぎると、木の根が張り出して階段になっている所や、急登があるものの30分ほどでまた緩やかな道になり、2時間弱で赤兎山山頂に到着。山頂からは、白山や経ヶ岳、また昨年登った荒島岳など、360度の展望が望めた。2時間弱でこの素晴らしい展望が見れるということで、地元でも人気の山らしい。



山頂から少し下ると赤兎平、初夏にはニッコク・スゲ・ささゆりなどが咲く赤池湿原・・・赤池はもう秋、草紅葉になっていた。紅葉の季節は10月10日前後で少し早かったが、リンドウの花が登山道の両脇にズーッと咲いていて、リンドウロード・・・高原は秋の彩りをつけていた。



山頂から少し下ると赤兎平、初夏にはニッコク・スゲ・ささゆりなどが咲く赤池湿原・・・赤池はもう秋、草紅葉になっていた。紅葉の季節は10月10日前後で少し早かったが、リンドウの花が登山道の両脇にズーッと咲いていて、リンドウロード・・・高原は秋の彩りをつけていた。

赤兎山情報

- 道路にゲートがあり、「入山協力金1人400円」ゲート時間：7時～17時まで
- 小原駐車場トイレあり
- 赤兎避難小屋：宿泊可能、綺麗な小屋でトイレあり。
- 登山道は笹など下刈もしてあり、整備されて歩きやすい。

(記：野路政子)



9月15日(日) 晴れ 鳩ヶ湯温泉から三ノ峰・別山を経て南竜山荘へ

【J-タイム】 鳩ヶ湯温泉(4:40)～上小池駐車場(5:00/35)～小池登山口(5:55)～六本檜(7:25)～三ノ峰避難小屋(10:10/25)～三ノ峰(10:40/50)～別山平手前(11:35/55 昼食)～別山(12:55/13:20)～御舎利山(13:30)～南竜山荘(16:25)〔泊〕

2日目夜明けと共に鳩ヶ湯を出発する。熊出没の看板が目につく、小池登山口よりブナ林の急登がいきなり始まる。六本檜までたどり着くと眺望も開け、昨年登ったというたおやかな山、荒島岳を望む。まだまだ暑く水分補給しながら最初のピーク三ノ峰に向かう。展望も開け遠く別山を望むことができたが、まだまだ道のりは遠い。アップダウンを繰り返して三ノ峰まで1,200mの高度を上げる。

ナナカマドが薄っすら紅葉し、リンドウの花が咲き紫色が眩しい、タカネマツムシソウ、ハクサンフウロウ、ウメバチソウ、カライトソウ、ヤマハハコ、ミヤマコゴメグサ、コケモモ



の実にはジャムにできるそう。夏の終わりだが結構花々が目を楽しませてくれた。青い空と雲と展望も素晴らしい。白山連峰がドーンと目にはいり、荘厳な山で、いつかまた登ってみたいと思わせる山だ。別山の岩肌と稜線が美しい。遠く槍、穂高連峰、御嶽山を望むことができた。お天気に恵まれたことに感謝し、高い山に登ったことを実感する。谷筋に來ると風が心地よい。三ノ峰までの道筋は草刈りがされ、きれいに整備されておりとても歩きやすい。福井県大野の方に感謝！

三ノ峰避難小屋を経て三ノ峰に向かう。避難小屋はお手洗いもきれいで窓もあり、そう

広くはないが充分泊まることができる。ここで本日泊まるというご夫婦はかなりの重さの荷上げで何度も休憩されていた。メルヘンチックな風景を後にして三ノ峰(2128m)に登頂する。いくつかのピークを過ぎ別山まで行く。ここを過ぎるとクマザサが腰まであり、刈られてなく足元が見えず歩きにくかった。稜線歩きを楽しみながら別山(2399m)に登頂する。やりました!! 南竜山荘まであと三分の一強かなと思いきや、大屏風岩を過ぎアップダウンの繰り返して疲労は増す。雲もかかってきた。やっと南竜山荘が見えたが、うん? 沢の音、これは一旦谷に下りて登る? 目の前に見えていながら下りてまた登ると思うとちょっと気が遠くなりそうだった。おまけに道はザレ場だ、けどもうひと頑張りだ。バックに白山が待っていると思いながら登った。南竜山荘が目の前に見え到着した時はほっとする。



歩行時間 11 時間(休憩含め)、歩行距離 15km の道のりは遠かった。歩き通すことができ、よかったー！ メンバーに感謝!! 体力を全部使い切った感がある。明日は歩けるのかな?そんな気持ちになった。長い道のりを行くには、いかに気持ちが切れないように登るか、体力、休憩、天気、展望、メンバーたちの支え、気持ちの立て直し方が重要だと痛感した一日だった。

(記：岩田礼子)



9月16日(月) 晴れ後曇り 南竜山荘から別山・三ノ峰を経て上小池登山口へ

【コースタイム】南竜山荘(4:00)～別山(7:45/8:00)～三ノ峰(9:35)～三ノ峰避難小屋(9:45/10:10)～六本檜(12:00/20)～上小池登山口(13:35)～上小池駐車場(13:55)

真っ暗な中、ヘッドランプを頼りに声(しりとり)をかけながら歩く。夜明け近くなると美しい紺色の空になり、満月に近い月とオリオン座の輝きを横目に慎重に下る。川の音が聞こえ始めたところで道を間違えたが、すぐに戻り元の道を少し進むと、昨日の川に出て徒渉する。ここから別山に向かうアップダウンが始まる。1 回目の上りを登ると、白山頂上付近にご来光を見に行くヘッドランプの列が見え、稜線がはっきりしてきた。あたりが明るくなり、ヘッドランプがいらなくなった頃に東を見ると、雲海が厚く雲を通してのご来光を拝む。今日も青空の下での山行である。後ろに白山、前に別山を眺めながら快調に進む。



別山に到着。見通しも良く、昨日と同じく雲に浮かんだ雄大な御嶽山は印象に残りました。別山の下りは、岩稜、ザレ場の急下降がわりに長く続くが、だんだんと道が緩やかになり笹道を歩く。昨日ほどの疲れもなく、三ノ峰を越え避難小屋で休憩して、お腹を満たし出発する。



雲が上がりガスが濃くなり始める。展望もなくなりだんだんと疲れが出てきたのか、みんなの口数が少なくなる。黙々とただただ下りやうと六本檜に着く。ここまでくると霧はなく、雲に覆われた山々が見える。あと少しでゴール! 雑木林から樹林帯になり、丸木の階段が多くなりついに登山口に到着! しかし駐車場までは、結構な上りで疲れた足にこたえましたが 20 分ほどで到着しました。駐車場には 100 円で冷たい水で冷やしたお茶やジュースを無人で売っています。美味しくいただきました!

(記：中昌子)

【追記】

- 鳩ヶ湯温泉：モンベルカード使用可能 5%の値引きあり。
- 三ノ峰までは地元大野山岳会の方が、笹など下刈りをして道幅も広いが、三ノ峰から別山まではあまり歩く人も少ないのか、下刈などされてなく、朝露で濡れるので「カッパ」を使用した方が良い。
- 2日目：上小池駐車場～南竜山荘まで、コースタイム 8時間⇒11時間
アップダウンが厳しい。一度沢まで降りるのが厳しい。
- 3日目：南竜山荘～上小池駐車場まで、コースタイム 6時間 50分⇒10時間
2日目、3日目はピストンで同じルート。歩行時間 7時間前後から疲れが出てくるので、足取りも重くなり予定以上の時間が必要。 (記：野路政子)



例会山行3 いけごややま 台高山脈 池木屋山 1,395.9m

【日程】9月15日(日) 晴れ

【参加者】L 船江・SL 藤井・亀高・上田・永井・今中 (6名)

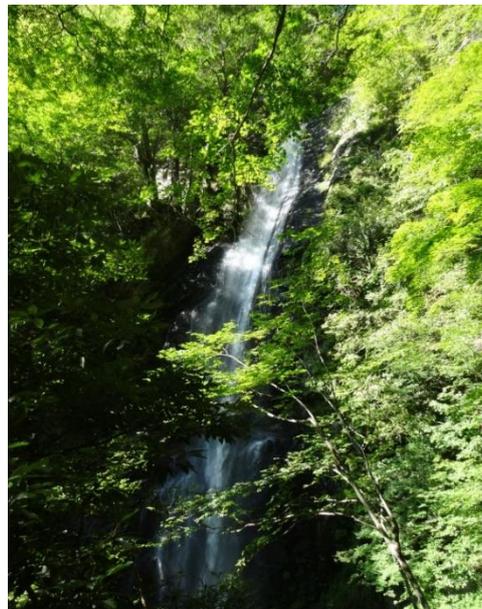
【コースタイム】宮の谷駐車場(7:45)～風折谷出合(8:45)～高滝(9:05)～奥の出合(11:30/12:00 昼食)
～池木屋山(13:45)～霜降山(14:35)～P1222(15:25)～P866(16:45)～鹿除けネット(17:05)～下山(18:20)

台高とは三重、奈良の県境にあり、北は高見山から南は大台ヶ原日出ヶ岳までをいう。今回の池木屋山はほぼ中央山奥深くにあるため、手つかずの自然林が残っている。登山道は宮の谷駐車場からVの字に深く切れ込んだ溪流沿いへ入って行く。覆いかぶさるような岩壁、水量豊富な滝群が次々と現れ、流れも速く勢いがある。高滝(たかたき)まで遊歩道が岸壁に沿って整備されている。鉄橋、階段、梯子をいくつも越えていく。濡れた手すりは滑り易いの



で手が離せず、足元を気にするあまり、絶景も楽しみたいけど余裕はない。高滝から先、登山道はなくなり、未整備の自然道となる。この山1番の難所らしい。滑落に注意し、ザレ場、ガレ場を進む。踏み跡も不明瞭になり、進路探しに30~40分のロスタイム、上り稜線方向ばかり探していたが沢沿いに下るルートだった。数回の徒渉、鎖場、ロープあり、緊張の連続となる。

11時30分、奥の出合に着き昼食。池木屋山まで標高差約580mのやせ尾根、辛い急な上りが始まる。むき出しの木の根をつかみ、枝をつかみ、三点確保ならぬ四つん這い有り、山頂まで長かった。普段は厄介な木の根が大いに役立ち有り難かった。傾斜が緩くなると山頂だ。ブナ林で明るい。山名の由来となった湿地、小屋池を通り霜降山へ向かう。北西に明神平、檜塚方面、南東



には歩いてきた池木屋山が見えていた。霜降山から少し下ると明るい広場(青空平)に出る。林業関係者のヘリポートとして使用されているらしい。ホトトギスによく似た花、ジキタリスが1本咲いていた。

下山が始まる。少々疲れも出だした頃、下山ルートから外れかけていたので確認、軌道修正すること約20分、どんどん下ると鹿除けネットが見えてきた。ネットの中には荷物搬送用のモノレールが設置されていて、レールに沿って下山

するコースとなっている。足場はザレ場、雑草は生え放題で急斜面、レールを掴みながら不安定な姿勢で慎重に下る。疲れた足腰には辛い。500mほど下ったろうか? 一旦レールは途切れ、鹿除けネットが立てられていて通行止めとなり下山方向を探す。見渡したところ植林の中で登山道を示すものが見当たらない。ネットの先にはまだレールが敷かれていたので突破し、再びレールを伝って下ることにする。藪漕ぎを繰り返し下山。苔むす溪谷から始まりブナ林、高野槇、アケボノツツジ、ヒメシャラの林、最後はモノレール。自然が残る奥深い山でした。皆さんお疲れ様でした。(記: 上田雅子)



自主山行

東北の山旅

月山 1,984m・鳥海山 2,236m・秋田駒ヶ岳 1,637.4m・岩手山 2,038m

【日程】9月29日(日)～10月5日(土)

【参加者】L 島崎・SL 野路・橋本・中・上田・岩田(6名)

9月30日(月) 晴れ 月山

【コースタイム】姥沢小屋(9:30)～月山リフト駅(10:00)～リフト上駅(10:15)～姥ヶ岳(10:50)～月山(12:50/13:10)～リフト上駅(14:45)

姥沢小屋のリフト下駅から、ペアリフトにザックとともに一人ずつ乗り込むと、足下にはリンドウの花があちこちに咲いていて、目を楽しませてくれました。リフト上駅に着くと、あたりは朱、黄色、緑の美しい紅葉が広がっていました。月山、羽黒山、湯殿山、出羽三山の中でも、月山は一番高い山です。大きく堂々とした山容の月山。登ってみると、なだらかで平らに敷き詰めた石畳みと、しっかりとした木道が交互に連続した、全く道迷いの心配のない山道が続きます。山頂までは、稜線から山肌を彩る紅葉を愛でながら快適な上りでした。頂上近くまで上った所から見えるのは、綺麗に積まれた石垣の上に変わった形の屋根！ここはチベットか？と思える雰囲気



の月山神社が見え始め、近寄ると防風のための石囲いでした。本殿に参拝すると、木造の社に立派な御影石の大きな賽銭箱が設えてありました。周りの山々を眺めながら昼食を摂る。山形県のほぼ真ん中にあるので、山頂からの眺望は抜群。遠く日本海を望む大パノラマが広がり、見事な絶景に疲れを忘れました。1日目の山行で時間的にも短めで、リフト上駅の標高は1,520m、標高差460mの上り下りでしたが、長く続く石を敷き詰めた山道は結構足にこたえるものでした。(記：中昌子)



10月1日(火) 晴れ 鳥海山

【コ-タイム】 鉾立登山口(4:25)～御浜小屋～(7:00/15)～七五三掛(7:58)～山頂小屋(大物忌神社)(10:20/47)～新山(11:25)～七高山(12:15)～行者岳(12:50)～文殊岳(13:32)～御浜小屋(15:00/07)～鉾立登山口(16:40)

鳥海山は、山形県と秋田県の県境にそびえる活火山の独立峰の山。鉾立コースから登り始める。今日は歩行時間往復約 9 時間の行程。ゆとりを持つ方がいいので早く出発した。ヘッドランプをつけ真っ暗な登山道に入るが、道はしばらく舗装されていて、その先は石畳の道が続き安心して歩くことが出来た。日の出の時刻になると、東の空が徐々に曙色に染まり始め、スケールの大きい山肌の紅葉を見ることが出来感激!! 2 時間程で御浜小屋に着く。その裏では美しい鳥海湖が一望できた。高度を上げて行くに

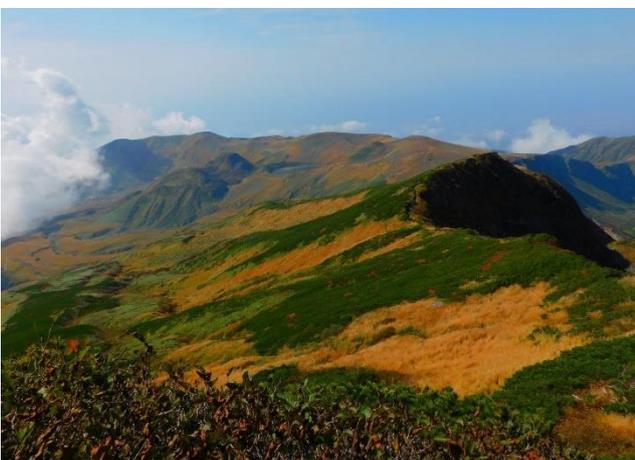


つれて登山道は厳しくなり、七五三掛(しめかけ)を通過し、ガレ場の千蛇谷を一旦下り、再び頂上へと登り山頂小屋に到着。

一休みした後、鳥海山最高峰の新山へと登る。溶岩が重なり合うようにそびえ立つ岩山を慎重に登れば頂上と思いきや、幾度かアップダウンの繰り返し。ペンキでルートが示されているので、それを外さないように歩いた。大きな岩に人の名前らしきものが彫られているのがいくつもある。「滑落事故があったのかな」と想像すると気が引き締まった。新山頂上は非常に狭かったが、青空の下展望も良く、気分は最高だった。復路は外輪

山コースを下る。外輪山で一番高い七高山 2,229m のピークを踏み御浜小屋まで下り、登山口まで往路と同じコースを下った。壮大な稜線の山肌を太陽が照らし黄金色に輝く草紅葉、赤や、黄色、色づいた木々のコントラストが本当に綺麗だった。「北の方の山に行ってみたい」との思いが以前からあり今回の自主山行に参加させて頂きました。お天気に恵まれ最高の景色を堪能できました。

(記：橋本紀子)



10月2日(水) 晴れ 秋田駒ヶ岳

【コース】 駒ヶ岳八合目(8:30)～片倉岳展望台(9:00)～阿弥陀池小屋(9:40)～秋田駒ヶ岳(10:00/15)～横岳(10:55/11:20)～駒ヶ岳八合目(12:15)

本来は移動日のつもりであったが、4日栗駒山の天気予報が雨の為、急遽大平山荘を4時に出発して、秋田駒ヶ岳へ向かった。八合目の登山口に車で行くにつれて、だんだんと紅葉が進んできている。Nさんは急に体調不良で登山は中止、八合目駐車場周辺で休養となりました。天気は快晴、青空のもと登るにつれて、山麓の紅葉がとてもいい感じである。眼下の田沢湖付近はまだまだ緑色である。木道を進んで行くと、阿弥陀池周辺と小屋はなんとなく北欧的な雰囲気風景である。阿弥陀池に映る秋田駒ヶ岳はとてもいい感じがする。



秋田駒ヶ岳からは360度の展望、田沢湖や明日登る岩手山も見える。

一旦下り、小屋横より登る。横岳の分岐からムーミン谷を眺め、横岳へ。横岳にて、景色を楽しみながら昼食タイムを取る。ざれ場を下り、焼森へ。焼森からは結構急な下りが続き、アップダウンしながら、秋田駒ヶ岳の周辺を360度周遊して、八合目の駐車場に早めの到着。
(記：島崎隆)



10月3日(木) 晴れ 岩手山

【コース】 馬返し登山口(4:45)～二合五勺(6:10)～(新道コース)～八合目避難小屋(8:25)～不動平分岐(8:35)～岩手山山頂(9:30)～避難小屋(10:05/40 昼食)～(旧道コース)～馬返し登山口(14:00)

午前4時30分、馬返しキャンプ地駐車場に着く。あたりはまだ暗い。ヘッドライト装着で登山口へ。登山者が一人山へ入って行く。緩やかな上りをしばらく行くと、0.5合目と書か

れた道標があり珍しいと思った。徐々に空も明るくなり標高も上がり、木々の隙間から眼下を見下ろすと、麓は雲海の中にあった。雲海の先には、形の良い姫神山（岩手 200 名山 1,123.6m）が頭を出しており、富士山の絵画を見ているようだ。登山道は緩やかな上りが続いて気持ち良い。またまた珍しい 2.5 合目と書かれた道標が出てきた。ここは新道と旧道の分岐、7 合目で合流する。紅葉が朝日に照らされ一段と鮮やかさを増している。4 合目、5 合目を通過する。この



位の登りなら楽々だと思ったが甘かった。5 合目から 7 合目は気力と我慢の急登だった。樹林帯を抜け道も平らになってきたら 8 合目、やっと不動平に到着。灰色の溶岩で覆われた大きな岩手山が目前に現れる。いよいよ最高点へアタック。ザラザラ道を踏ん張りながら岩手山（薬師岳）へ。強風の山頂付近は、遮るものが無いので飛ばされそうになる。頂上中心は噴火で吹き飛ばされクレーター状になっており、赤茶けた噴火の跡が残っている。その

また中心に小さなピーク妙高岳ができています。頂上までの道沿いには山岳信仰の山らしく石の祠、狛犬の頭、石仏などお祀りされている。360 度の大パノラマだ。不動平は東西に細長い箱庭の様で、ベースは緑色のはい松、草モミジの黄色、カエデの赤、噴火口跡の池、黒い溶岩群鬼が城を背に白く光る白樺林、紅葉した低木群で彩豊、南方に目をやると昨日登った秋田駒ヶ岳が見える。避難小屋へ戻り昼食。



下山は 7 合目から 4 合目まで旧道を通り、新道へ戻るコースをとる。馬返し方面を見下ろせば、稜線に錦柄の布を広げたように紅葉が広がっている。溶岩流のザレ場、急斜面で滑り易く足が疲れているせいか時間が長く感じた。4 合目から旧道に合流、今朝上ってきた道に入ったときはなぜだかホッとした。見覚えのある 2.5 合目、0.5 合目を通過。

歩行時間 9 時間余り、晴天に恵まれ、素晴らしい紅葉に出会えた事に感謝。又、変化に富んだ急登、急降下の歩みを振り返りながら、登山口のキャンプ地駐車場に到着。宮沢賢治も若いころ 30 回ほど岩手山に登っていたらしい。当時の歌碑を刻んだ石碑がキャンプ地に残されている。



（記：上田雅子）

教育部主催 第2回初級学習会

【日 時】2019年10月10日（木）9:00～12:00 山口神社横の広場

【参加者】橋本・中・杉森・上田・岩田・佐々木・玉野・今中（8名）

【内 容】・ビバークについて、ツェルトの扱い方（張り方）

・テントについて、テントの扱い方（張り方）

山行において、ツェルトをどんな時に使うか、ツェルトとは何か？から学習しました。ビバークしなければならなくなったシチュエーションについて説明しました。風向き、川の増水、崖などの危険を避け、また、落石、強風、放射冷却を避けるため、樹林帯の中、岩陰などでツェルト・テントを設営する時の注意点について説明しました。教育部スタッフから、練習でビバークした時の体験談を話してもらいました。感想としては「とにかく寒い！」でした。

その後、ツェルトについて、木と木に細引きを渡して釣る方法、ストックをポール代わりに使って張る方法を体験しました。イラスト付きのパンフレットを見てもらいました。ただ被るだけなら簡単ですが、立てて張るとなると、最低3種類の結び方；トートラインヒッチ（自在結び）、ポーライン（もやい結び）、インクノット（マスト結び）を知る必要があります。石でペグを打ち込み、とにかく結べる方法で設営しました。後でインクノットのみ練習しました。Sさんが「おじいちゃんに教えてもらった玉ねぎの縛り方と同じ」と言われたが、日常の生活で知っていると便利かも知れませんが、テントをとにかく設営してみようと3張り張ってみました。ポールを使うので時間もかからず、フライシートも張るのでなかなか快適そうです。ただ、一張りだけどうして張ってよいかわからないテントがあり、宿題になりましたが、実際にやってみて良かったです。

感想として、会のツェルト（6人用）は、5人ぐらいは荷物を出せば入れますが、それ以上の場合は2張り以上必要である。また、数量とともに山行でだれが持っているかを、メンバーが共通認識していることが必要であること痛感しました。（記：中昌子）



室内例会だより

【日 時】2019年9月22日(日) 15:00~16:00 事務所

【出席者】藤井、島崎、林、勝尾、杉村、橋本、船江、野路、中、上田、永井、岩田、
佐々木、玉野、都築(記録)

1. 山行計画

10月13日(日) 例会山行1 生駒山系《府民の森 くろんど園地》……………L 野路
10月19日(土)~20(日) 例会山行2 中国山地《蒜山高原》1,202m……………L 杉森
10月27日(日) 県連交流山行 例会山行3 《武田尾廃線ウォーク》……………L 島崎
11月3日(日) 公開山行 例会山行1 奈良中部《高取山 583.6m~明日香村》……………L 林
11月10日(日) 例会山行2 台高山脈《白髭岳》1,378m……………L 永井
11月17日(日) 例会山行3 播磨の山《七種槍 577.1m~七種山 683m》……………L 橋本

2. 山行報告

8月10~14日 自主山行 北アルプス《薬師岳・雲ノ平・黒部五郎岳》L 杉森……………4名
8月25日 例会山行1 竜門山地 《竜門岳》904m L 勝尾……………7名
9月1~4日 自主山行 北アルプス 白馬三山《白馬岳・杓子岳・鑓ヶ岳》L 杉村……………4名
9月8日 例会山行1 湖南の山《三上山》432m L 永井……………7名

3. 報告・連絡事項等

★本会より

・事務所について

12月を目途に西大和山の会の事務所(窪田宅)をしめる予定をする。
その後の対応として

① 月例の室内例会を年4回とする。

3月(総会の後)、6月、9月(暑気払いの前)、12月(忘年会の前)

② 室内例会の開催場所を検討する。

(1) やわらぎ会館(王寺町役場横)

(2) 交流センター(リーベル王寺東館5階)

(3) 文化福祉センター・南公民館

・10月27日(日): 県連交流山行武田尾廃線ウォーク、L 島崎さん

西大和山の会主催ですので、出来るだけの参加を希望致します。

・会費は、10月30日(水)に集金します。

・9月22日 暑気払い(や台ずし) 14名参加

以上

2019年度第1回 運営委員会議事録

【日 時】2019年9月22日(日) 13:00~14:30 事務所

【出席者】島崎・林・野路・中・藤井・都築(記録)

【欠席者】亀高

運営委員会案件

1. 夏山山行全般について

・島崎会長より

北アルプス 剣岳・立山連峰について

- ① 天候に恵まれ、山行そのものは問題なかったが、参加者が7名というのは、多いような気がするので山行計画時点で検討する。
- ② 2日目の剣御前小屋からのコースタイムは、11時間かかった。今後、剣山荘で泊まるなど山行の行程を考慮する必要がある。

・山行管理者 野路さんより

北アルプス 薬師岳・雲ノ平・黒部五郎岳について

- (ア)3日目、4日目に9時間~10時間歩くのは当会の年齢構成からすれば厳しいと思う。今後山行計画を見直したほうが良いと思う。
- (イ)今回、薬師岳~雲ノ平の山行計画が2つ出ていた。(L島崎・L杉森)
結果的に、島崎さんがおりて、杉森さんのパーティに合流することになったが、今後こういった時は、各リーダーで話し合いで決めていただきたい。
- (ウ)夏山山行を例会山行(比較的参加しやすい山行)として取り組むかは、今後検討する。

2. 西大和山の会の事務所について

現在、西大和山の会の事務所として使用させていただいている名誉会員の窪田氏の自宅が家の基礎・外壁等の劣化が進んでいるため引っ越しを検討されていることから、公民館等の会議室を借りるなどの検討が必要であるということで下記のとおり運営委員より意見が出た。

(ア)来年度より室内例会を月4回とする。

3月(西大和山の会定期総会の後に開催)

6月

9月(暑気払いの前に開催)

12月(忘年会の前に開催)

(イ)開催場所

費用や部屋の空き状況を考慮しながら下記の中から検討する。

(1)王寺町地域交流センター(リーベル王寺東館5階)

(2)やわらぎ会館(王寺町役場横)

(3)王寺町福祉文化センター・南公民館(王寺町畠田)

※運営委員会は土曜日の昼間に別に開催する。

(ウ)細則3 緊急対策規定の内容、会報の記載内容などについては後日検討する。

以上

西大和つうしん

第449号（2019年11月号）

2019年10月30日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>